



みんなが輝くまちを目指してー

本年度も突き進む

平成21年度

施政方針

2月23日に開会した第7回定例市議会本会議で山内隆文市長による施政方針演述が行われました。演述の中で示された本年度のまちづくり方針の一部を要約してお知らせします。また4〜5ヶ月では本年度の予算を、6〜7ヶ月では本年度の主な事業をそれぞれお知らせします。



力強い口調で本年度の施政方針を示す山内市長

課題解決を図りつつ歩みを進めた昨年度

昨年は、中心市街地活性化基本計画に基づく街なか再生推進事業の核施設「やませ土風館」のオープンなどがありました。まちづくりの指針である「久慈市総合計画」に基づき、自ら立ちゆく「自立」と自らを律する「自律」の理念のもと「夢・希望・未来に向かってひと輝くまち」を目指して力強く歩を進めた一年でした。



昨年4月のオープンから約63万人が訪れた、やませ土風館。本年度も中心市街地の活性化に力を注ぎます

また市民バスの運行開始や

岩手沿岸北部地震被害の復旧など諸課題の対応を図った年でもあります。

市民や議員の皆さんの絶大なご指導、ご支援をいただきながら行財政の運営に努めてきました。

課題山積み厳しい環境市民と協働で対応図る

わが国の経済は百年に一度といわれる金融危機の影響で急速に悪化しています。地方は社会資本整備や少子高齢化への対応など山積みする課題に加え、不況と雇用環境の悪化という厳しい環境に置かれています。

政府は、かつてない経済不況の中「当面は景気対策」としています。本市としては、景気浮揚と雇用対策を主とした「生活防衛のための緊急対策」を今すぐ実効性をもって実施するよう国に強く求めていきたいと考えています。

一方、県は、広域振興局体制への移行や県立病院の新経営計画などにより行財政改革を急速に進めようとしています。

す。本市としては県北・沿岸部の振興にとって適切な措置となるよう訴えていきたいと考えています。

こうした厳しい状況の下、社会の急激な変化や多様化する地域課題に的確に対応するため「市民との協働によるまちづくり」を基本姿勢とします。各種施策を工夫し、英知を結集しながら本市の持続的な発展と市民満足度の向上に向け全力を傾けていきたいと考えています。

財政状況厳しさを続くも重点押さえた予想編成

本市の財政状況は、市税の減収や扶助費・公債費など經常経費が高い水準で推移するとともに大型事業の継続などにより多額の財源不足が見込まれています。現在、財政調整基金、市債管理基金の残高も大きく減少している状況で、厳しい財政環境に置かれています。

平成21年度予算は、この限られた財源の重点的かつ効果的な活用に努めました。低迷

する地域経済の活性化に取り組むため、地域活性化・生活対策臨時交付金等を活用し、切れ目ない予算執行が実施できるよう平成20年度3月補正予算と連続した14カ月予算を編成しました。

高い利率の市債を繰り上げて償還するほか市債発行を極力抑え、プライマリバランスの黒字（新たに借入する額が、借金返済額を下回る状態）を達成。予算は財政運営の健全化を推進した内容です。

この結果、平成21年度一般会計予算の総額は187億9530万1000円。前年度予算額と比較すると2億9854万7000円（1.6%）の減となりました。一方3月補



子育て世代のサポートも重要課題の一つです

正予算と合わせた14カ月予算額では7億3514万9000円（3.9%）の増となっております。

本市の重要課題である子育て支援の拡充や中心市街地の活性化、市道などの社会基盤の整備、教育環境の改善、そして緊急雇用対策など、これらの課題に対応する予算編成ができたと考えています。

評価と検証を重ねつつ市政の運営に努めます

最後に各施策については、市民満足度の向上を目指して策定している「市政改革プログラム」の着実な実施を図り、推進していきます。また行政評価制度を通じて、施策や事務事業などの評価と検証を行い、効果的かつ効率的な市政運営に努めていきます。

平成21年度の市政運営にあたり、各施策が円滑に推進され、それぞれの目的を達成できますよう改めて市民ならびに議員各位のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。